

令和5年度 文京区立本郷小学校 授業改善推進プラン（社会科）

		中学年	高学年
身に付けさせたい力	3年	<ul style="list-style-type: none"> ○地域における社会的事象を、自分の目でよく見て考える力 ○調査活動、具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象に対し、調べた事実をもとに意味や願い、社会とのかかわり方を考える力 ○調べるために適した資料を収集し、必要な情報を読み取り、問題解決のために活用する力
	4年	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象について、人々の工夫や努力、思いなど、学んだことから社会とのかかわり方を考える力 ○調査活動、具体的資料を通して、必要な情報を収集し、調べ、まとめる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象に対し、調べた事実からその意味や願いを多角的・多面的に考えることができる力 ○年表や写真などの各種資料から必要な情報を見付け、それらを比較・関連・総合して考えていく力

		中学年	高学年
児童の実態	3年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料から、必要な情報を読み取ることができる児童が多い。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象の特色や相互の関連についてなど、考えたことや判断したことを文章で記述したり、説明したりして表現することに課題がある。 ○課題を見出して、学習問題を追究することに慣れていない。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象に対して、興味・関心をもって意欲的に調べようとする児童が多い。 ○友達との関わりによって、自分の考えを变容できるような、学びとしての対話を生かすことに慣れていない。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料から事実の読み取りはできる児童が多い。一方で、事実をノートに簡潔にまとめることが不十分である。 ○教師の板書をノートに写すことができる児童は多いが、自分で工夫してノートを作成できる児童が少ない。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象を比較したり、関連付けたりして自分の考えをもつことや、社会的事象を自分事として捉えることが不十分である。 ○友達と対話を通して学びを広げたり、深めたりする協働的な学び方が不十分である。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習問題を解決するために粘り強く学習に取り組む児童が多い。 ○既習事項や既存の知識などと関連付けながら学びを調整する力を有している。

4 年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○与えられた資料から、必要な情報を読み取ることができる児童が多い。 ○問題を解決するために、自ら資料を収集することに慣れてきた。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調べたことをまとめたり表現したりする力に偏りが見られる。 ○課題を見出し、学習問題を追究することに慣れていない。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象に対して、調べてみようという関心や意欲を高める児童が多い。 ○友達との関わりによって、自分の考えを变容できるような、学びとしての対話を生かすことに慣れていない。 	6 年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史学習を好み、豊富な知識をもっている児童が多い。複数の資料を比較・関連・総合して読み取ったり、資料を整理して自分なりに再構成したりして、全体的な傾向をとらえることが難しい児童がいる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料を読み取り、学習した史実から自分の考えをもつことや判断したり、表現したりすることができる児童が多い。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に学習に取り組もうとする児童が多く、主体的に学習を展開することができる。資料集やインターネットをうまく活用し調べることができる。
--------	---	--------	---

授業改善の具体的な手立て	中学年	高学年
	3年	5年
	<p>【知識・技能】</p> <p>○問題を解決するために、自ら資料を収集することに慣れていけるように、具体的な情報を示し、提供する。ICTの活用も積極的に行う。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○单元ごとに、单元を貫く学習問題とゴールを明確に設定し、追究することによって单元の目標を実現することを持続できるように設定する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○友達との対話によって、自分の考えが変容できるように、対話の視点をもたせたり、良い話し合いができているグループを紹介したりして、話し合い活動を活発化させる。</p> <p>○ジグソー学習を取り入れ、多くの児童と意見交換したり、自分との考えの相違を見付けたりする。様々なグループで調べたり発表したりする機会を増やす。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○情報を収集する場所や方法を示して、収集の仕方を経験したり、慣れたりできるようにする。</p> <p>○精選した資料の読み取る視点を明確にし、資料の読み取り方のスキルを身に付けさせる。</p> <p>○社会的事象を関連図やチャート図など様々な方法でまとめる機会を設ける。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○社会的事象について、考える時間を確保し、比較や関連付けのような思考スキルを用いながら考えられるようにする。</p> <p>○社会的事象に対して、生産者や消費者（自分）のように多角的な視点で考えられるようにして、話し合い活動を活発化させる。</p> <p>○单元末の活動として調べたことを画用紙や新聞、ICT機器などにまとめることで考えの形成や表現力を高めていく。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○協働的な学習を積極的に取り入れたり、対話の話型を示したりすることで協働的な学びの充実を図る。</p>

4 年	<p>【知識・技能】</p> <p>○問題を解決するために、自ら資料を収集することに慣れていけるように、資料を与える場合も収集に適した場所やもの、方法など具体的な情報を示したり、自分で収集する機会を増やしたりしていく。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○単元ごとに単元を貫く学習問題を話し合っ て設定し、追究することによって、単元の 目標を実現するというを持続してい く。</p> <p>○白地図、関連図、チャート図など、様々な 方法で調べたことをまとめる機会を多く設 ける。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○友達との対話によって、学習内容や資料の 読み取り方、まとめ方などの学習の仕方を 共有し、高められるようにする。 また、そのための時間を確保したり、交流 活動を行ったりできるようにする。</p>	6 年

【知識・技能】

○問題を解決するために、自ら資料を収集することに慣れていけるように、資料を与える場合も収集に適した場所やもの、方法など具体的な情報を示したり、自分で収集する機会を増やしたりしていく。

【思考・判断・表現】

○単元ごとに単元を貫く学習問題を話し合っ
て設定し、追究することによって、単元の
目標を実現するというを持続してい
く。

○白地図、関連図、チャート図など、様々な
方法で調べたことをまとめる機会を多く設
ける。

【主体的に学習に取り組む態度】

○友達との対話によって、学習内容や資料の
読み取り方、まとめ方などの学習の仕方を
共有し、高められるようにする。
また、そのための時間を確保したり、交流
活動を行ったりできるようにする。

【知識・技能】

○複数の資料を比較したり、関連させたりし
て考えられるように、資料を精選したり、
視点を明確にできるように線を引いたり
して読み取りを行う。それらを図解化して
整理できるようにする。

○関連図やチャート図、年表など様々な方法
でまとめる機会を設ける。

【思考・判断・表現】

○学習計画を児童の疑問や予想を基に作成
し、単元を貫く学習問題を軸にした問題解
決学習を進めていく。

○知識として知っているだけでなく、資料を
根拠に社会的事象の特色や相互の関連、意
味を多角的に考えられるよう、図表に整理
することで自分の考えをまとめられるよ
うにする。

【主体的に学習に取り組む態度】

○協働的な学習を積極的に取り入れたり、対
話の話型を示したりすることで協働的な
学びの充実を図る。

○社会的事象や史実を基に、考える場面を設
定し、そのことについて追究できるように
していく。

○教科書に載っていない内容などを取り上
げ、興味関心を高めるようにする。

	中学年	高学年
成果 (○)と課題 (●)	3年 ○視点を示していくことで地域における社会的事象を、自分の目でよく見たり、調べたりする児童が多くなった。分からないことや疑問に思ったことを人に聞いたり、本やタブレットを使って調べたりすることができるようになった。 ○警察、消防、工場などの仕事について比較しながら学習し、共通点や相違点をまとめることができた。 ○新聞やリーフレットなどの表現する方法を繰り返し行うことにより、学習のまとめの仕方を身に付けられた。 ○出来る限り見学や探検を行い、本物を見たり、人に聞いたりすることができた。見学できなかったものについては、ICTを活用して学習することができた。 ●四方位や地図記号の定着が不十分な児童がいるため、随時繰り返し取り組ませる必要がある。 ●事実を捉えることはできる児童は多くいたが、そこから人々の思いや願いを考えることのできる児童に差が生じていたので、思考を促す手だてが必要である。	5年 ○学習問題を常に意識できる授業の組み立てをすることで、見通しをもった問題解決的な学習をすることができた。 ○情報を収集する場所や方法を示して、収集の仕方を経験したり、慣れたりすることができた。また、くり返し資料を読み取っていくことで資料から大切なことを読み取る力が付いてきた。 ○社会的事象について、考える時間を確保し、比較や関連付けのような思考スキルを用いながら考えられるようにすることで自分の考えを書ける児童が増えた。 ●調べるための的確な資料を収集することができる児童が増えたが、一方で資料を収集することが難しい児童もいて二極化が起きた。選ぶことが難しいインターネットを多用する児童もいるため、まず教科書や資料集といった身近な基礎資料から調べ、次に図書資料の内容を読んでから選ぶなど、課題に合った資料を的確に収集できる方法を指導していく。また、ペアやトリオ学習を取り入れることで差を埋めていく。 ●協働的な学習を積極的に取り入れたり、対話の話型を示したりすることで協働的な学びの充実を図ったが対話的な学びで深めることができなかった。引き続き協働的な学習の場を設定していく必要がある。 ●資料やグラフの読み取りに関して二極化が見られた。基礎的なグラフで繰り返し読み取りの定着させていく必要がある。

<p>4 年</p>	<p>○47都道府県のクイズを行うことで、興味をもって学習に取り組むことができた。</p> <p>○興味を引きつけることができる多様な資料を準備したり、読み取る視点を具体的に示したりすることで、社会的事象を的確に理解することや、人々の思いについて考えることにつながった。</p> <p>○学習問題を学級全体で話し合っって考え、予想のもとに学習計画を立てることで、主体的に学ぶことができるようになってきた。また、学習問題の立て方や考え方への理解が定着した。</p> <p>○単元を通した学習の流れを設定したことで、後半の調べ学習が充実してきた。</p> <p>●「問題解決のための適切な資料」を探し、活用できるようにしたい。教科書や副読本のような身近な資料を活用したのちに、個人の課題を設定し調べ学習を行った。対象を説明するのに十分な資料を収集したり、資料を活用して分かりやすく表現したりする力を身に付けさせていく。</p> <p>●友達との対話を通して、学習内容や、資料の読み取り方やまとめ方などの学習の仕方を変容できるようにしたが、資料を読み取り、まとめる力に個人差が大きかった。どのように読み取り、まとめれば良いのか、良い例を紹介していくことや、同様の学習スタイルを持続して慣れることで、定着できるようにしていく。</p>	<p>○資料から事実と考えたことに分けて読み取ったり、歴史上の人物の思いを考えたりすることができた。</p> <p>○歴史分野では、その時代ごとの史実や起こった理由、社会的背景について調べ、話し合うことができた。史実の順序についても、大きな時代の流れの中で捉え、出来事の順を簡単に整理することで理解を深めることができた。</p> <p>○ディベートやペア学習での伝え合いなど様々な学習形態で学ぶことが出来、児童の興味関心が広げることができた。</p> <p>●学習問題を設定する際に、問題意識をもって学習をすすめるための、矛盾や驚きある資料提示が不十分だった。</p> <p>●国際・政治分野では、児童にとっては身近に感じられるものやそうでない事例、題材があった。より身近に感じられるような事例を挙げるなどをして興味関心を高める必要がある。</p> <p>●史実を既に知っている児童も多いため、児童が自ら追究しようとしたり、多面的、多角的に考えられたりするような興味ある学習問題を設定できると良かった。</p> <p>●教師側が資料を用意し、提示することが多かったため、児童主体の授業展開がよりできると良かった。関連する図書資料やインターネットを活用したり、児童が資料を準備したりすることで問題解決を図り、より児童が主体的な授業ができるようにしていく。</p>
	<p>6 年</p>	